

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

横浜市 地域ワークショップ 報告書

2019（平成31）年1月31日（木）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」横浜市ワークショップが開催されました。当日は、横浜市のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方3名（小学校2名、中学校1名）及び推進校ではない学校の先生方約100名にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2019（平成31）年1月31日（木）15時00分～16時45分

会場：横浜市南公会堂

主催：横浜市教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：約100名

プログラム：

15:00～15:05 開会の挨拶

横浜市教育委員会事務局指導部 指導企画課長 宮城 篤 氏

15:05～15:50 基調講演「自分の可能性を求めて」

成田 真由美 氏

15:50～16:25 オリンピック・パラリンピック教育推進校事業実施報告①

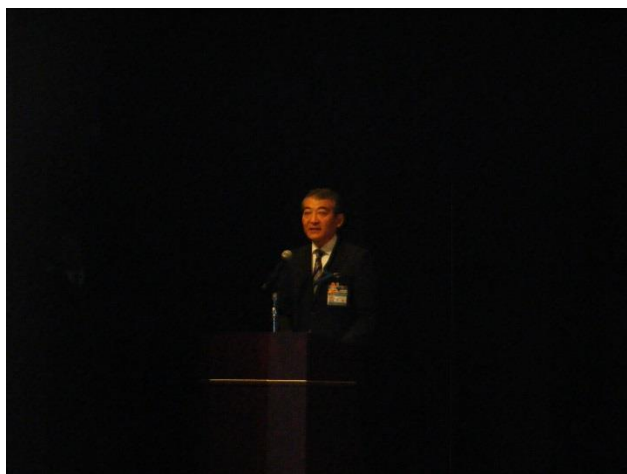
一本松小学校、東野中学校、岡村小学校

14:30～15:30 オリンピック・パラリンピック教育推進校事業実施報告②

横浜市教育委員会事務局 高橋 義成 氏

15:45 閉会の挨拶

開会行事では、横浜市教育委員会事務局の宮城篤氏より挨拶がありました。



宮城 篤 氏



成田 真由美 氏

続いて、競泳のパラリンピアン成田真由美氏の基調講演が行われました。「自分の可能性を求めて」という

テーマで行われた講演では、成田さんが障害を負うまでの経緯、障害を負ってから水泳を始めるまでの葛藤、そして日常生活の中に存在する様々な障害等について、自らの体験を元にお話しされました。成田さんのユーモアに溢れつつも力強いお話に、会場の参加者は引き込まれている様子でした。

続いて、推進校の先生から実践報告が行われました。

一本松小学校からは、学校における活動（委員会活動、総合的な学習の時間、運動会、体力向上活動）と地域における活動（地域のお祭り）においてオリ・パラ教育に取り組んだ様子について紹介がありました。特に、委員会活動では、集会委員や情報委員による昼休みの「オリ・パラクイズ」の実施や図書委員による図書室へのオリ・パラコーナーの設置等、多様な実践に関する報告がありました。

東野中学校からは、保健体育科の「体育理論」領域での調べ学習、総合的な学習の時間での車いすバスケットボール体験、パラリンピアン永尾嘉章氏（車いす陸上）の講演に関する報告がありました。

岡村小学校からは、体育科や生活科における実践、岡村オリンピックの開催、オリンピックの矢澤航氏（陸上）の講演等に関する報告がありました。



推進校の先生による実践報告①



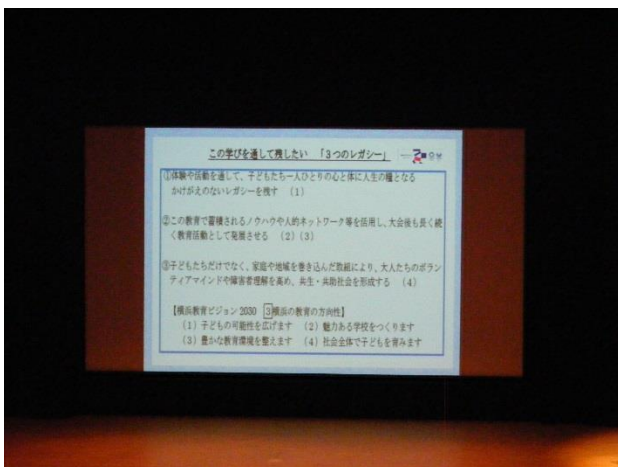
推進校の先生による実践報告②

さらに、横浜市教育委員会事務局の高橋義成氏より、上述の3校以外の13校の推進校の実践事例の紹介がありました。

最後に、横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課の方から、学校における東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興の取り組みについての情報提供がありました。



教育委員会事務局の方による実践報告①



教育委員会事務局の方による実践報告②